

病院名:奈良西部病院 医療圏:奈良

※R7年度、R8年度(2026年度)の列は、今年度の病床機能報告及び様式2の数値を記入してください。

			(a) ＜H28年度＞ 許可病床数	＜R7年度＞ 許可病床数	うち、最大使用 病床数 (注1)
一般病床・療養病床	高度急性期				
	急性期	重症			
		軽症	59床	59床	58床
	回復期				
	慢性期		58床	58床	57床
	休棟中 (今後再開する予定)				
	休棟中 (今後廃止する予定)				
	(合計)(自動計算)		117床	117床	115床
精神病床					
結核病床					
感染症病床					
介護医療院					

(b) 将来 (R8/2026年度) 病床数	(b-a) H28年度からの 増減 (自動計算)
	0床
	0床
59床	0床
	0床
58床	0床
	0床
	0床
117床	0床
	0床
	0床
	0床
	0床

・1年間(R6.4.1～R7.3.31)に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数のことです。

令和7年度 地域医療構想における具体的対応方針

1. 基本情報

病院名：医療法人 拓生会 奈良西部病院

医療圏：奈良

2. 地域医療構想の実現に向けた自院の取組について

(1) これまでの地域医療構想や昨今の受領動向の変化、2040年頃を見据えた新たな地域医療構想の方向性を踏まえ、自院が地域で担う役割等について（現状と今後の方向性）

地域に根差した病院として、一般急性期医療・地域包括ケア病床・神経難病（一般病棟障害者施設）等

まで幅広い医療を行う。

- ・地域で発生する重症、軽症の救急患者の受け入れ
- ・外傷手術を中心とした整形疾患の入院対応
- ・地域医療機関と密接な連携
- ・重症心身障害児者の医療型短期入所・短期レスパイト入院
- ・入院から在宅までの一貫したリハビリテーション
- ・地域医療の充実の為、訪問診療の強化を行います。

(2) 今後、増加が見込まれる高齢者救急への対応について

三次救急病院の負担軽減の為にも、地域二次病院として、高齢者救急における「受け皿」として重要な役割を担い救急医療のみならず、退院後の生活を見据えた包括的対応を行うことで、地域全体の医療提供体制の持続可能性を高めることに貢献していく。

(1) 高齢者救急受入体制の整備

- ・軽症～中等症高齢者救急の積極的受け入れ

(2) 多職種連携による包括的対応

- ・医師・看護師・薬剤師・MSW・リハビリ職の連携
- ・早期からの服薬調整・せん妄予防
- ・入院時より退院支援介入を開始

(3) 地域連携の強化

- ・消防・救急隊との情報共有（既往歴、ACP情報）
- ・かかりつけ医・在宅医療機関との連携
- ・介護施設との受入・逆紹介体制の構築

(4) 急性期後を見据えた医療提供

- ・不要な長期入院を避けるための早期転院調整
- ・地域包括ケア病棟の活用
- ・在宅復帰支援・看取り支援への関与（在宅診療医・訪問看護ステーションとの連携強化）

(5) ACP（人生会議）の推進

- ・高齢患者・家族との意思決定支援
- ・DNAR等の情報を救急現場で共有可能な体制整備
- ・望まない救急搬送・過剰医療の回避

期待される効果

- ・三次救急病院の負担軽減
- ・救急搬送時間・受入困難事案の減少
- ・高齢患者のQOL向上
- ・地域医療・介護連携の強化

(3) 今後、増加が見込まれる在宅医療需要への対応について

※提供体制強化や体制整備の予定等ありましたら合わせてご記載ください

(1) 在宅医療を支える在宅療養支援病院としての役割

- ・在宅医療体制の強化
- ・在宅療養患者の急性増悪時の迅速な入院受入
- ・夜間・休日を含めた救急対応体制の確保
- ・軽症から中等症の急性期治療を担い、早期の在宅復帰を目指す

(2) 地域医療における役割分担の明確化

- ・三次救急病院との機能分化
- ・不要な高度医療依存を避けた、適切な医療提供
- ・救急搬送の受け皿としての責任
- ・在宅療養支援病院として地域の在宅医からの入院受入・連携を強化。

(3) 在宅療養の継続を支える体制構築

- ・在宅医・訪問看護との24時間連携
- ・在宅患者の病状変化に対する相談・受入窓口の明確化
- ・一時的入院やレスパイト入院への対応

(4) 円滑な入退院支援と在宅復帰促進

- ・入院早期からの多職種による退院支援
- ・地域包括ケア病棟等を活用した在宅復帰支援
- ・介護サービス・家族支援を含めた調整

（４）今後の医療従事者の確保や医療提供の維持に向けた方策、検討の状況について

※医療DX、タスクシフト・シェア等の取組状況がありましたら合わせてご記載ください

医療従事者確保に向けた方策と検討状況

- （１）働きやすい職場環境の整備（業務分担・タスクシフトの推進）
- （２）人材育成と定着支援
- （３）多様な人材活用（シニア人材の活用、定年年齢の引き上げ）

医療提供体制維持に向けた方策と検討状況

- （１）機能分化と役割の明確化
- （２）医療の効率化と質の確保
- （３）在宅・地域連携の強化

3. 各領域の対応状況について

※以下[1]～[15]の領域の今後の方向性について記入してください。
※選択肢については、あてはまるものにチェックをつけてください。

[1]がん

[1-1]当該領域について対応しているか？

☒ はい

[1-2]手術の実施

消化器

[1-3]化学療法の実施

実施している

[1-4]放射線治療の実施

☒ はい

[1-5]拠点病院等の指定

指定されていない

[1-6]特記事項

消化器がんの手術は対応しますが、その他のがんに関しては近隣病院と連携し対応します。

[2]心筋梗塞等の心血管疾患

[2-1]当該領域について対応しているか？

—

[2-2]24時間心血管疾患の急性期医療の実施

—

[2-3]緊急心臓カテーテル検査及び治療の24時間365日実施

—

[2-4]経皮的冠動脈形成術もしくは経皮的冠動脈ステント留置術の実施

—

[2-5]心疾患に対する外科手術の実施

—

[2-6]冠動脈バイパス手術の実施

—

[2-7]急性大動脈解離の手術の実施

—

[2-8]大動脈瘤手術の実施

—

[2-9]心血管疾患等への早期リハビリ

—

[2-10]特記事項

—

[3]脳卒中等の脳疾患

[3-1]当該領域について対応しているか？

☑ 対応している

[3-2]脳梗塞に対するt-PAによる脳血栓溶解療法の実施

☑ 対応している

[3-3]脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施

☑ 対応している

[3-4]脳出血（くも膜下出血を含む）への対応

☑ 対応している

[3-5]くも膜下出血に対する脳動脈クリッピング術

☑ 対応している

[3-6]くも膜下出血に対するコイル塞栓術

☑ 対応している

[3-7]脳出血に対する開頭血腫除去術

☑ 対応している

[3-8]脳血管疾患等への早期リハビリ

実施している

[3-9]特記事項

亜急性期の治療および超急性期後のリハビリを積極的に行います。

※ 回復期リハビリ病院では対応できない基礎疾患がある患者の受入れ含む

[4]救急医療

[4-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[4-2]救急告示病院の指定を受けているか？

受けている

[4-3]大腿骨骨折への対応

対応している

[4-4]病院群輪番制への参加

参加している

[4-5]小児科病院二次輪番体制への参加

参加していない

[4-6]特記事項

引き続き幅広い疾患に対応出来る医師（救急医）の当直日を増加して内科、整形外科、外科を中心とした地域の2次救急を積極的に受け入れことにより、3次救急病院の負担を減らし地域医療の質を高めます。

[5]リハビリ

[5-1]当該領域について対応しているか？

○ 対応している

[5-2]回復期リハビリ病棟入院料届出の有無

無し

[5-3]上記が有りの場合、届出病床数

—

[5-4]訪問リハビリの実施

実施している

[5-5]通所リハビリの実施

○ 実施している

[5-6]今後の方向性

地域包括ケア病床の増床を行い、他院からのリハビリ患者の受入れを行う。
基幹病院での入院リハビリ後、外来リハビリを当院で継続する。
訪問リハビリの強化。

[6]在宅医療

[6-1]当該領域について対応しているか？

※ここで言う在宅医療は「在宅医療の提供」「他医療機関等との連携」「後方支援」を含む概念とします。

[6-2]在宅療養支援病院の届出の有無

有り

[6-3]在宅療養後方支援病院の届出の有無

無し

[6-4]特記事項

病院近隣を中心に今後も拡大予定。

[7]訪問看護

[7-1]病院看護師が当該領域について対応しているか？

[7-2]同一法人内に訪問看護ステーションをもっているか？

ない

[7-3]上記でありの場合、その名称

[7-4]特記事項

—

[8]ACP（アドバンス・ケア・プランニング）への取組

[8-1]「適切な意思決定支援に関する指針」（「適切な看取りに対する指針」）について
定めている

[8-2]特記事項

患者様の意思決定に基づいて、治療を行います。

[9]小児医療

[9-1]当該領域について対応しているか？

[9-2]小児入院医療管理料の算定

—

[9-3]新生児特定集中治療室管理料の算定

—

[9-4]医療的ケア児を受け入れている

—

[9-5]特記事項

救急車を含めた外傷外科のみ対応予定。

[10]周産期医療

[10-1]当該領域について対応しているか？

[10-2]分娩の取扱い

—

[10-3]ハイリスク分娩管理加算の算定

—

[10-4]特記事項

対応予定なし。

[11]災害医療

[11-1]当該領域について対応しているか？

対応している

[11-2]災害拠点病院の指定を受けているか？

受けていない

[11-3]DMAT指定病院の指定を受けているか？

受けていない

[11-4]E M I S（広域災害救急医療情報システム）への参加

参加している

[11-5]特記事項

地域の急性期病院として中等症、軽症患者を中心に対応させていただきます。

[12]へき地医療

[12-1]当該領域について対応しているか？

[12-2]へき地医療拠点病院の指定を受けているか？

—

[12-3]特記事項

予定なし。

[13]医師の研修・派遣機能（臨床研修の実施等を含む広域的な医師派遣の拠点としての機能）

[13-1]当該領域について対応しているか？

—

[13-2]基幹型臨床研修病院の指定を受けているか？

—

[13-3]協力型臨床研修病院の指定を受けているか？

—

[13-4]臨床研修協力施設であるか？

—

[13-5]専門研修の基幹施設であるか？

—

[13-6]専門研修の連携施設であるか？

—

[13-7]特記事項

—

[14]医師の働き方改革

[14-1]医師の宿日直許可の取得状況

取得済み

[14-2]上記で一部の場合、その範囲

取得済み

[14-3]特記事項

医師の宿日直許可は取得済み。
更なる残業時間短縮を目指します。

[15]看護職員の研修機能

[15-1]特定行為研修の指定研修機関の指定申請予定はあるか？

ない

[15-2]特定行為研修の協力施設の申請予定はあるか？

ある

[15-3]特記事項

奈良県立医科大学付属病院との特定行為研修の協力施設を継続する。